

ちくしのクリップ

問 秘書広報課

12/23 地産地消で
元気な年明けを
みかさの朝市開催



12月22日、御笠まちづくり協議会の「みかさの朝市」がありました。地域の生産者と住民の交流、地元でつくられた季節の野菜や正月飾り、餅などの加工品に親しんでもらおうと毎年この時期に開かれています。御笠まちづくり協議会会長の八尋 雄二さんは「地元の野菜や米を味わって、元気に新年を迎えてほしい」と話していました。



新鮮野菜や正月飾りはすぐに売り切れました

12/18 数学の先生謎に字がきれい
俳句コンクールで後援団体賞を受賞

筑紫野中学校が団体応募した「第35回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」において、180万句以上の中から3年生の島崎 穂空さんの作品が後援団体賞に入賞しました。「自分の作品が多くの人に知ってもらえるのは感慨深いです」と話をしてくれた島崎さん。入賞した作品は何気ない学校生活の一場面を表したもので、商品に印刷されて全国に広まっています。



次は家族でも挑戦してみるそうです

12/24 鮮やかに輝く幸運の白へび
九州産業高校が絵馬を作成

毎年、九州産業高校美術部が作成しJR二日市駅に飾りつけを行っている絵馬。今年が一番大きな絵馬は、いろいろな人の想いを模した宝石を身にまとった幸運の白へびがモチーフです。絵馬には、市のマスコットキャラクターのつくしちゃんやむさしの姿も。部長の池田 江梨花さんは「受験生の合格祈願と市の発展を願って作成しました」と話をしてくれました。



JR二日市駅の駅長と、絵馬の制作を行った美術部

12/20 苦しい時こそ
自分に勝って試合に勝つ!
バディフットボールクラブが全国へ

市内で活動するバディフットボールクラブが、全日本U-12サッカー選手権大会(小学6年生以下のサッカー大会)の福岡県予選で優勝し、全国大会への出場を決めました。県予選はプロサッカークラブが指導するチームも出場する中での優勝。選手たちは市長への報告の中で「最後まで諦めずに一生懸命戦い抜けることがチームの強みです」と話をしていました。



チームの合言葉は「自分に勝つ!」

■見出しの二次元コードを読み取ると
イベントの様子を動画でも見ることができます。

1/12

地域防災を育てた女性たち

ありがとう「筑紫野市婦人防火クラブ」

筑紫野市婦人防火クラブは、原田地区の婦人消防隊(昭和25年結成)を母体に、昭和53年に組織されました。これまで、火災発生時の初期消火、消防広報活動や消防出初式への出席、火災予防運動や防災訓練への参加など、地域に根差した活動を行ってきました。式では、平嶋裕子さんと亀岡 博子さんに感謝状が贈られました。筑紫野市婦人防火クラブは、今年度で活動を終了します。



感謝状を受ける平嶋 裕子さん

1/11

炎高く、願いをこめて

山家中央区でほうげんぎよう開催

小雪のちらつく中、山家中央区で有志主催のほうげんぎようが開催されました。木枠を5段に積み上げた中に竹を入れた櫓は、十分に乾燥するよう12月中旬から準備されたものです。点火と同時に燃え上がる勇壮な炎に歓声が上がりました。山家コミュニティ運営協議会の町田会長は「子どもたちの安全と皆さんの無病息災を願います」と語ってくれました。



まだ暗い里山に竹のはぜる音が響きます

1/27

新たな交通手段に 山口からのーと

AIデマンド交通「筑紫野のーと」出発式

地域交通の新たな手段として山口地区で実証運行を行っているAIデマンド交通「筑紫野のーと」。その出発式を行いました。出発式の中で、山口コミュニティ運営協議会会長の出田 章さんは「地域住民にとっての新しい交通手段となることを期待します」と話しました。テープカットの後、参加者が見守る中、筑紫野のーとは市街地地域へと走りだしました。



筑紫野のーとが走り出します

1/12

防火・防災への 決意新たに

筑紫野市・太宰府市合同消防出初式

太宰府市と合同で開催している消防出初式には、筑紫野太宰府消防本部や両市の消防団、自衛隊の音楽隊や市民などが参加しました。式では、長年活動している消防団員や、県消防操法大会優秀団員への表彰などがありました。昨年管内での火災件数は50件と過去5年間で最多。出席者は、地域ぐるみで防火・防災意識の向上を図り、連携を深めていくことを再確認しました。



悪天候の影響で、室内開催となった出初式